

○吉村善明議長 日程第1、昨日に引き続き、一般質問を行います。

通告順に従い、順次、発言を許可いたします。

まず、11番沢田かおる議員。

（11番 沢田かおる議員 登壇）

4○11番 沢田かおる議員 おはようございます。それでは、議長の許可を得まして、一般質問を行います。

1、公共交通の維持、充実について。

11月の自治会回覧に10月20日発行の生駒市自治連合会ニュースが添付されておりました。内容は、高齢化の影響で全国的に公共交通機関の路線廃止などが報道され、生駒市内においても維持が難しいバス路線が発生しており、市内の公共交通の課題を検討する協議会において利用者の利便性やまちづくりへの影響をできる限り小さくするため、高齢社会の進展や生駒市の都市計画を踏まえて、移動ニーズに応じた方向性が検討されます。路線バスの未来について、ご意見、ご要望をお待ちしていますと記載された、奈良交通株式会社が提案する生駒市内路線再編略図が掲載されていました。診療所や病院、各種手続きのための市役所、認知症予防や知的好奇心を満たす図書館、自分で商品を選びたいお買物、フレイル予防のための体育館に行くことができることが重要であると考え、以下の質問をいたします。

1、病院、医院、市役所、図書館、体育館に行く交通手段は確保されていますでしょうか。

2、10月6日、県議会予算審査特別委員会の阪口県議会議員による奈良交通の東生駒、生駒駅行きの存続を求める質問があり、知事が奈良交通と住民が代表する市町村が対話をしてくれれば、県も応援する。個人的な感覚としては市がお金を出して維持してくれるはと思うと答弁されていましたが、市の見解をお聞かせください。

3、2019年11月25日にゼロカーボンシティ宣言を行った本市において、環境モデル都市及びSDGs未来都市としてCO2の削減をし、コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくりのため、徒歩又は公共交通の利用が推奨されると思われませんが、どのようにお考えでしょうか。

二つ目の猫の殺処分ゼロを目指す取組について。

生駒市は猫の殺処分ゼロを宣言し、ふるさと納税によって頂いたご寄附を活用して、飼い主がいない猫の避妊、去勢手術費を市が全額負担する取組を2019年10月に全国で初めて実施いたしました。平成27年の一般質問、生駒市地域猫活動サポーター制度の推進についてにおいて、この制度は地域猫を野良猫ではなく地域の生活環境の改善に向けての市の環境施策の一環として捉え、導入したと回答されました。猫の殺処分ゼロ実現に向けて、以下の質問をいたします。

1、猫の殺処分ゼロを目指す取組の成果をお聞かせください。

2、ふるさと納税の名称変更は2回行われたのですが、どのような検討がなされ、今の名称になったのでしょうか。

3、地域猫サポーターさんとの意見交換において、改善された点、課題をお聞かせください。

4、猫の殺処分ゼロを目指す取組の支援について、市の見解をお聞かせください。

三つ目の質問です。隣接校選択制について。

小学校の隣接校選択制度は、通学区域に関する規則で定める指定校以外で指定校の校区に隣接する通学に近い学校、隣接校を子どもと保護者の希望により選択して就学できる制度です。

(中略) この制度は中学校への進学は原則として通学区域の指定校となりますのでご注意くださいと市のホームページで説明されています。文部科学省の公立小学校、中学校における学校選択制度等についての事例集によると、学校選択制度には自由選択制、ブロック選択制、隣接区域選択制、特認校制、特定地域選択制があり、就学校の指定変更や区域外就学、その他の事例が記載されています。保護者の中には特別な事情が分かりにくくするためにも、中学校も隣接校を可能にしてほしいとの声も聞こえてきますので、以下の質問をいたします。

- 1、隣接校を選ぶ児童の人数の推移はどのようになっていますでしょうか。
- 2、隣接校を選ぶ理由を答えられる範囲で教えてください。
- 3、中学校では隣接校を選ぶことができない理由をお聞かせください。

以上で、登壇しての質問を終わります。ただし、1問目の地域公共交通の質問のうち、2につきましては、梶井議員、神山議員、白本議員への答弁と重なる部分がございますので、答弁は結構です。

2回目からは自席にて行います。

5〇吉村善明議長 米田建設部長。

(米田尚起建設部長 登壇)

6〇米田尚起建設部長 おはようございます。それでは、沢田議員の一つ目のご質問、公共交通の維持、充実について、他の部署の所管に係るものもございしますが、1回目は私が一括してお答えさせていただきます。

まず1点目のご質問、病院、医院、市役所、図書館、体育館に行く交通手段を確保されていますかについてですが、現在市内の主な病院、公共施設への交通手段についてはおおむね鉄道又は路線バス、コミュニティバスの交通手段が確保されているものと考えております。

次に、3点目のご質問、2019年11月25日にゼロカーボンシティ宣言を行った本市において、徒歩又は公共交通の利用が推奨されると思われませんが、どのようにお考えでしょうかについてですが、本市はゼロカーボンシティ宣言都市として市域の脱炭素化には率先して取り組んでいるところであります。公共交通に係る環境負荷削減の取組については、マイカーだけに頼ることなく、公共交通の利便性向上を図るためコンパクト・プラス・ネットワークの推進等の環境整備が国のプロジェクトとして推進されていると認識しております。本市においても、環境基本計画、環境モデル都市アクションプラン等の環境関連計画にも、歩行者空間の整備や環境にやさしい交通への転換といった交通施策を位置付けていることから、市民が日常生活を送る上で移動に支障を来さないよう、地域特性に応じた公共交通システムの構築、検討を進め、自動車に依存しない交通への転換を図ることで、より一層の脱炭素まちづくりを推進していきたいと考えております。

以上、ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

7〇吉村善明議長 小林市民部長。

(小林弘幸市民部長 登壇)

8〇小林弘幸市民部長 それでは、沢田議員の2問目のご質問、猫の殺処分ゼロを目指す取組についてにつきまして、他の所管に関わる内容もございますが、1回目は一括して私からお答えいたします。

まず、1)の猫の殺処分ゼロを目指す取組の成果ですが、生駒市所有者不明猫適正管理推進事業等により、地域猫活動又は譲渡の推進のために行った飼い主のいない猫の避妊、去勢手術件数は、令和2年度184件、令和3年度146件と減少しております。また、郡山保健所の調べではございますが、生駒市内での飼い主のいない猫の譲渡を含む処分件数は令和元年度15件、令和2年度9件、令和3年度1件と減少しており、取組の成果が出たものと考えています。

次に、2)のふるさと納税の名称の変更についてですが、コースの名称については平成30年度から2回変更しています。1回目は令和2年度で、寄附者に動物愛護と動物を取り巻く自然環境を維持し、人と自然が共生できる環境保護に取り組むという本市の施策に魅力を感じていただき、ご支援をいただきたいと考え、変更いたしました。2回目は令和3年度で、それまで流動的に設定していたコース全体を見直し、寄附者に本市の施策に共感を得やすくするため、活用事業をイメージしやすいキーワードを採用し、ある程度恒常的に呼びかけられる名称に変更いたしました。これにより、同じコースに継続して寄附を募るとともに、活用状況報告を分かりやすく伝えることができ、長期的にはリピーターの獲得につながるという狙いがあります。現在もこの八つのコースを設定しています。

次に、3)の地域猫活動サポーターとの意見交換についてですが、市所有者不明猫適正管理推進事業の実施に当たり、地域猫活動サポーターの皆様から現場の状況や計画を、実際に取り組んでいく上での難しさなどのご意見をいただきました。課題といたしましては、地域猫活動サポーターは地域猫活動を実施する地域に対して助言等を行うことを目的としておりますが、特に新規のサポーターからどういった活動をしてよいか分からないといった意見や、またサポーターそれぞれに考えの違いがあり、グループ活動がうまく機能しないというご意見をいただきました。改善された点といたしましては、これを受け、サポーターの皆様からの提案で活動経験の多い一部のサポーターと、活動経験の少ない又は未経験のサポーターの育成のため、市内を北、中、南の3グループに分けて活動をしていただいております。

最後に、4)の市の見解でございますが、本市としては所有者不明猫を原因とする生活環境被害の軽減と所有者不明猫の殺処分ゼロを達成することを目的とし、動物病院や地域猫活動サポーター、地域の皆様との協働によりこれまで取り組み、一定の成果を上げてきました。今後もしばらくの間は事業を継続することが必要と考えております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

9〇吉村善明議長 奥田教育こども部長。

(奥田吉伸教育こども部長 登壇)

10〇奥田吉伸教育こども部長 おはようございます。それでは、沢田議員の三つ目のご質問、隣接校選択制についてにつきまして、お答えさせていただきます。

初めに、1点目の隣接校を選ぶ児童の人数の推移はどのようになっているかのご質問ですが、平成29年度が51人、平成30年度が70人、令和元年度が49人、令和2年度が53人、令和3年度が42人、令和4年度が42人、また令和5年度につきましては50人の希望者がござ

いました。

次に、2点目の隣接校を選ぶ理由を答えられる範囲で教えてほしいとのご質問ですが、隣接校選択制の趣旨といたしましては、原則として、指定校に隣接し、指定校より通学距離が短く、徒歩で通学できる児童となっておりますことから、この趣旨のもと隣接校を選んでいただいております。

次に、3点目の中学校では隣接校を選ぶことのできない理由はとのご質問ですが、学校教育法施行令第5条第2項において、就学予定者が就学すべき小学校、中学校又は義務教育学校を指定するとされております。その際、あらかじめ各学校に通学区域を設定し、これに基づいて就学すべき学校を指定することとなっており、同施行令第8条で相当と認められるときは保護者の申立てにより、その指定した学校を変更することができるとされております。本市におきまして、隣接校選択制を導入した経緯といたしましては、小学校における児童の通学での安全、併せて体力的なことも考慮し、指定校より通学距離が短く、徒歩で通学できるということを相当の理由として指定校を変更いたしております。また、中学校におきまして隣接校選択制を導入した場合、子どもや保護者の希望に応じ、学校を選択する機会が拡大するものと考えますが、一方では学校間の学力差による学校選択を助長することや、学校間の規模等の格差を増大させる可能性があると考え、導入はいたしておりません。

なお、中学校におきましても、相当の理由がある場合においては指定校変更の制度により、現在も指定校の変更を行っているところでございますので、ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。以上でございます。

11○吉村善明議長 沢田議員。

12○11番 沢田かおる議員 ご答弁ありがとうございました。

それでは、一つ目の大きな質問、公共交通の維持、充実について、1番目から質問させていただきます。病院、医院、市役所、図書館、体育館に行く交通手段は確保されていますでしょうかからです。

まず、こちらなんですけれども、こちらが書かせていただきました生駒市自治連合会ニュース、こちらが11月の回覧の方に回ってまいりました。内容なんですけれども、奈良交通からの申入れがこれに対し生駒市はバスの近隣路線廃止、路線の再編、今後どうなるの、皆さんのご意見聞かせてください。現在対象となっている5路線、奈良交通が提案する生駒市内路線再編略図、そして一番下に生駒市役所地域コミュニティ推進課となっております。この回覧なんですけれども、一体どなたが作成されたんでしょうか、生駒市自治連合会が作成されたんでしょうか。地域活力創生部、地域コミュニティ推進課、どちらなんでしょうか。

13○吉村善明議長 領家地域活力創生部長。

14○領家誠地域活力創生部長 生駒市で自治連合会ニュースとしまして、生駒市自治連合会が作成し発行したものでございます。

15○吉村善明議長 沢田議員。

16○11番 沢田かおる議員 こちらなんですけれども、この回覧なんですけれども、全自治会へ回覧されたものですか。

17○吉村善明議長 領家部長。

18○領家誠地域活力創生部長 全自治会への回覧でございます。

19○吉村善明議長 沢田議員。

20○1 1 番 沢田かおる議員 この回覧はどのような意思決定がなされて、回覧に至ったでしょうか。私も自治会役員しているんですけども、回覧を見てこのような回覧が回ってくるというのは非常に珍しいケースだと思うんです。自治会長さんが集まってこれを回すって決められたのか、市の方から联合会の方にこういった情報を流してほしいって依頼されたのか、どちらになるのでしょうか。

21○吉村善明議長 領家部長。

22○領家誠地域活力創生部長 毎月行っております自治連合会の役員会議の中で、生駒市自治連合会ニュースとして全自治会へ回覧するということが決定されました。

23○吉村善明議長 沢田議員。

24○1 1 番 沢田かおる議員 このニュースの中に、皆さんにご意見をお聞かせくださいってあるんですけども、意見を寄せるのは自治連合会なのか、ここ一番下の再編案のところを書いてある生駒市役所地域コミュニティ推進課の方にご意見を聞かせてもらうのか、それともアンケート調査を行っています建設部事業計画課の方に寄せたらいいのか、こちらのニュースに対してのご意見、ご要望、これはどちらの方に行くのでしょうか。

25○吉村善明議長 領家部長。

26○領家誠地域活力創生部長 意見につきましては、自治連合会事務局を担っております地域コミュニティ推進課宛てというふうになっております。

27○吉村善明議長 沢田議員。

28○1 1 番 沢田かおる議員 地域コミュニティ推進課に行きまして、こちらの方のご意見、ご要望、コミュニティ推進課に行ったとして、市民に対してはどのように回答されるのでしょうか。

29○吉村善明議長 領家部長。

30○領家誠地域活力創生部長 先ほど言いましたように、地域コミュニティ推進課宛てになっておりますけれども、基本的に自治連合会の方に意見については、最終的に集約して届けられるということになっていて、この取りまとめた意見につきましては、自治連合会からの意見として、公共交通活性化協議会内で報告するというふう聞いております。

31○吉村善明議長 沢田議員。

32○1 1 番 沢田かおる議員 そうしましたら、この12月15日に行われる地域公共交通活性化協議会のところで、自治連合会会長さんの方から市民の意見が届けられると理解いたしました。その後の市民への説明という形なんですけど、自治連合会の方から説明会というのはされる予定があるんですか。

33○吉村善明議長 領家部長。

34○領家誠地域活力創生部長 今回のニュースで意見をいただくものについては、公共交通活性化協議会の中で意見表明するという形になっていますので、その後、自治連合会として市民への説明会はしないというふう聞いております。

35○吉村善明議長 沢田議員。

36○1 1 番 沢田かおる議員 住民さんの方から説明がないという声が聞かれてくるんです。市民

に対して丁寧な説明の方をお願いしたいと思うんですけども、市の見解はいかがでしょうか。

37○吉村善明議長 米田部長。

38○米田尚起建設部長 地域公共交通活性化協議会の後、市民に説明する必要があると考えていますので、する方向で今現在調整しております。

39○吉村善明議長 沢田議員。

40○1 1 番 沢田かおる議員 活性化協議会の後に市民への説明、是非ともどうぞよろしくお願いしたいと思います。それで、今現在は1の答えですね、病院、医院、市役所、図書館、体育館に行くアクセスは確保されているというお答えだったんですが、こちら神山議員の質問、富雄庄田線において北スポーツセンターに影響があるというふうにご答弁されていました。総合公園体育施設に対しては、どうなるのでしょうか。

41○吉村善明議長 八重生涯学習部長。

42○八重史子生涯学習部長 総合公園体育施設につきましても、やはり路線バスの利用者も一定おられますので、影響は大きいものと考えております。

43○吉村善明議長 沢田議員。

44○1 1 番 沢田かおる議員 私も総合公園施設に行くときは、生駒駅からバスに乗っているんですね。東生駒駅を経由して、そしてすごい坂になりまして、そしてその上に総合公園施設がございます。今の再編案でしたら、ここ登っていくところが今カットになっている状態なんです。逆に反対側、白庭台からの方から行くバス路線というの見当たらないので、こちらの方、十分市民への、そして体育施設への利用者に影響がないようにしていただきたいと思っております。

続きまして、白本議員のバスの質問の中で、バリアフリーについての質問がございました。私、図書館会館に行くときに、木曜日の8時30分のバスに乗ってみたとき、車椅子マークがバスについてたんですね。正式には国際シンボルマークというみたいで、障がいを持つ人々が利用できる建築物や施設であることを示す世界共通のマークというふうに言われています。ですので、今回はちょっと車椅子での利用について聞いてみたんです。そしたら車椅子ごと乗れますと、そして車椅子で乗れるバスはいつも走っているんですかと聞いたところ、事前に連絡をくれると、車椅子でも乗れるその車両を用意するというご返答をいただきました。これは市からそういったバリアフリーに関して申入れをしたのか、奈良交通さん独自の心遣いなのか、どちらなのでしょう。

45○吉村善明議長 米田部長。

46○米田尚起建設部長 そのノンステップバスの導入につきましては、奈良交通の企業努力として、事前にご連絡をいただければ、可能であれば、ノンステップバスによる運行をするなどの企業努力が行われていると聞いております。

47○吉村善明議長 沢田議員。

48○1 1 番 沢田かおる議員 ありがとうございます。一つ目の質問はこれまでにいたしまして、二つ目の質問の方に移らせていただきます。これは確認です。確認ですけども、梶井議員の質問で、奈良交通路線バスへの奈良県からの補助金は出ていないという理解でよろしかったですね。

49○吉村善明議長 米田部長。

50○米田尚起建設部長 生駒市内のバス路線においては、奈良県からの補助金はございません。

51○吉村善明議長 沢田議員。

52○1 1 番 沢田かおる議員 こちらも確認ですけれども、生駒市から奈良交通路線バスへの補助金も出てないという理解でよろしかったですね。

53○吉村善明議長 米田部長。

54○米田尚起建設部長 コロナ交付金以外の補助金を出していないということになります。

55○吉村善明議長 小紫市長。

56○小紫雅史市長 もう少し丁寧に答えますと、バスの運行そのものというのではないんですけれども、当然いろんな形での支援があります、これは。なので、もちろんコロナに対する影響で、例えばコロナの関係で感染防止のためのいろんな予防措置をするところでお金がかかるというようなことに対する支援でありますとか、今回燃料が非常に高くなるということで、今回議案でも出させていただいているような、そういう燃料高騰分の対応でありますとか、あとそれ以外でもいろんなお金以外の連携してやっていくような部分とか、もちろん市の事業に対する、お力をいただいている部分もありますけれども、それは当然彼らの事業として費用をお支払いしているとか、いろんな広報面での連携でありますとか、先ほどのバリアフリーの話も、やはり市としては公共交通機関に対するいろんなバリアフリーの取組というものを広くお願いしている中で奈良交通さんが対応していただいているものでありますとか、いろんな支援だったり連携事業というのはこれまでやっておりますので、市としては非常にその辺りは手厚く、できる限りですけども、やっておるといふことで。逆に、県の方から、特に市をまたぐようなバスの運行に対する支援というのは、一般的にあるんですけども、生駒市内のそういう路線についてはご支援が今、県からは1円もないということで、その辺りはそれこそ県だったり、県会議員の先生だったりからお力添えをいただいて、県からの支援なんかもいただくような形でしっかりこういう公共交通を守っていくという、市だけがやる、市はしっかりやっているとあると思います。あとは県からもお力をいただいてしっかりやっていくということもしっかりこれから考えていきたいと、お願いしたいところでございます。

57○吉村善明議長 沢田議員。

58○1 1 番 沢田かおる議員 市長、丁寧に説明ありがとうございます。これも確認です。北スポーツセンターの方で委託料が出ていますけれども、お幾らでしょうか。

59○吉村善明議長 八重生涯学習部長。

60○八重史子生涯学習部長 傍示のバス停から北スポーツセンターまで延伸していただいている部分の委託料でございますけれども、令和3年度の実績で1日20便、土・日・祝日という運行、年間122日の運行ということでございますが193万4,698円でございます。

61○吉村善明議長 沢田議員。

62○1 1 番 沢田かおる議員 先ほど市長から丁寧に説明はあったんですけども、地域住民の移動手段を確保するため、私は生駒市が補助金を出してでも路線バスを維持するべきであると考えておりますので、こちらは要望をしておきます。

では、三つ目の質問の方、させていただきます。SDGs、ゼロカーボンシティ、この辺りなんですけれども、CO2を削減するため公共交通の利用を市民に促すなど、SDGsの視点で市民への啓発はしているんでしょうか。

63○吉村善明議長 領家部長。

64○領家誠地域活力創生部長 現在具体的に啓発活動というものを行っておりませんが、環境基本計画に基づく施策として、環境にやさしい交通への転換や、歩いて楽しいまちづくりの推進、それに基づく具体的な事業として、モビリティマネジメントなど公共交通の利用促進や、歩行者空間の整備などを掲げております。また、環境モデル都市アクションプランやSDGs未来都市計画においても地域特性に応じた、環境に優しい公共交通システムの構築、検討やユニバーサルデザインによるまちづくりで、歩きやすい環境の形成などを掲げております。このため事業所管課とも連携しながら、それらの進捗を把握するとともに所管する関連事業において、公共交通や徒歩の利用促進の観点も取り入れたものになるよう、適宜検討していきたいと思っております。

65○吉村善明議長 沢田議員。

66○11番 沢田かおる議員 是非とも車社会だけではなくて、徒歩や公共交通機関を利用するよう、SDGsからもよろしくお願いいたします。神山議員の提案とか、白本議員の提案があったように、公共交通を利用する仕掛けというのはたくさんあると思うんです。例えばバスを利用したハイキングというのは、生駒市の路線バスを利用したハイキング、これはふるさとミュージアムさんの自主事業で実際行われておまして、私もそれに乗って参加させていただきました。帰り道は相当の長い距離歩かせていただきまして、健康にもよかったなと思っております。バスの利用促進と、今問題になっています、これは総合公園の体育施設の駐車場、これがいっぱいになっている。この駐車場の緩和のために、バスで来たら、例えばこれはほんまに例なんですけれども、体育施設の割引券配布だとか、利用促進とかいろんなアイデアあると思うんです。これを考えるのは指定管理者なのでしょうか、生涯学習なのでしょうか、SDGsになるのでしょうか、どこになるのでしょうか。

67○吉村善明議長 米田部長。

68○米田尚起建設部長 先日神山議員の一般質問でもお答えさせていただきましたとおり、利用促進策の一つとしてよいものは取り入れていきたいと思っておりますので、今後はいろいろと調査していきたいと思っております。

69○吉村善明議長 どこですのか。沢田議員。

70○11番 沢田かおる議員 それはもうどこですというのは、特にどこの部というわけではなくて、連携して促進のアイデアをつくっていくという理解でよかったですでしょうか。

71○吉村善明議長 山本副市長。

72○山本昇副市長 バスの利用促進ということを目的にするのであれば、やはりその担当所管課になろうかと思うんです。それ以外の様々な目的によって担当課は変わってくると思いますので、よろしく願います。

73○吉村善明議長 沢田議員。

74○11番 沢田かおる議員 ありがとうございます。路線バスの再編、住民のニーズに沿ったものを市は奈良交通に対して私は要望していくべきであると考えます。市民ニーズや意向に沿ったバス路線にしてほしい、こちら、お願いできますでしょうか。

75○吉村善明議長 米田部長。

76○米田尚起建設部長 これまでも他の議員さんからのご質問にお答えしましたとおり、奈良交通の路線バスが市民の足として維持されるよう、協議を重ねていきたいと考えております。

77○吉村善明議長 沢田議員。

78○11番 沢田かおる議員 市民への丁寧な説明、住民ニーズに沿った地域公共交通の構築、移動手段を確保するための財政支援をお願いいたしまして、一つ目の質問を終わります。